2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	柔道整復スポーツ学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	生理学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎301
担当教員	岡田 健志	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

生理学では、ヒトの健康や病気を理解するために欠かせない基礎的学問である。目標としては、柔道整復師を目指す学生に人体の生命
現象の機序(生理機能)に関する基礎医学的知識を修得させる。生理学基礎(細胞生理学など)、植物性生理学(血液、骨、循環、呼吸、消化吸収、排泄、内分泌など)、動物性生理学(筋肉、神経、感覚、高次神経活動など)の順で講義を進み、ヒト

《成績評価の方法と基準》

期末試験にて記述試験を行なう。
その得点(100点満点中60点以上合格)で評価します。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

生理学改訂第4版. 株式会社南江堂

《授業外における学習方法》

解剖学的構造の理解と併せて生理学の対象項の確認をすること。図書室での参考図書の閲覧が必要になる場合もある。

《履修に当たっての留意点》

講義前及び講義後に教科書を読んでおくこと

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の生理学について理解する①	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	血液の役割、血液の組成、免疫機能 小テスト		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の生理学について理解する②	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	血液の役割、血液の組成、免疫機能 小テスト		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の生理学について理解する③	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	血液の役割、血液の組成、免疫機能 小テスト		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の生理学について理解する④	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	血液型、血液の凝固 小テスト		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の生理学について理解する⑤	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	血液型、血液の凝固 小テスト		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の生理学について理解する①	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	骨の構造、形成と成長、骨の再吸収再形成、 カルシウム代謝とリン代謝、ビタミンD、上皮小体ホルモン、カルシトニン 骨の病気（骨粗鬆症）		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の生理学について理解する②	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	骨の構造、形成と成長、骨の再吸収再形成、 カルシウム代謝とリン代謝、ビタミンD、上皮小体ホルモン、カルシトニン 骨の病気（骨粗鬆症）		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環の生理学について理解する①	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	体液の区分とバランス、体液のイオン組成 体液の恒常性を維持するしくみ：体液浸透圧と体液量の調節、体液 　Na量と体液量、体液酸塩基平衡の調節		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環の生理学について理解する②	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	心臓の機能： 　心臓の構造、心筋の基本的性質、心電図、心臓のポンプ機能 小テスト		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環の生理学について理解する③	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	血管系： 　各血管の構造、血圧、リンパ管系、循環の調節（神経性調節） 小テスト		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環の生理学について理解する④	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	血管系： 　循環の調節（体液性調節、局所性調節）、局所循環（冠循環） 小テスト		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環の生理学について理解する⑤	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	血管系： 　局所循環（脳、肺、皮膚、骨格筋の循環）、脳脊髄液循環 小テスト		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸の生理学について理解する①	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	呼吸器の機能的構造、換気（換気の仕組み） 換気（肺胞内圧と胸膜腔内圧、換気量・残気量） 小テスト		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸の生理学について理解する②	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	換気（肺胞換気量と死腔、呼吸のための仕事）、ガス交換 血液中の酸素、二酸化炭素の運搬、呼吸を調節するしくみ 小テスト		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸の生理学について理解する③	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	呼吸異常、特殊環境下の呼吸、人工呼吸 小テスト		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(4)　時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎301
担 当 教 員	岡田　健志	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

生理学では、ヒトの健康や病気を理解するために欠かせない基礎的学問である。目標としては、柔道整復師を目指す学生に人体の生命
現象の機序(生理機能)に関する基礎医学的知識を修得させる。生理学基礎(細胞生理学など)、植物性生理学(血液、骨、循環、呼吸、消化吸収、排泄、内分泌など)、動物性生理学(筋肉、神経、感覚、高次神経活動など)の順で講義を進み、ヒト

《成績評価の方法と基準》

期末試験にて記述試験を行なう。
その得点(100点満点中60点以上合格)で評価します。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

生理学改訂第4版. 株式会社南江堂

《授業外における学習方法》

解剖学的構造の理解と併せて生理学の対象項の確認をすること。図書室での参考図書の閲覧が必要になる場合もある。

《履修に当たっての留意点》

講義前及び講義後に教科書を読んでおくこと

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿の生成と排泄について、理解する①	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	腎の構造と機能、糸球体濾過 小テスト		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿の生成と排泄について、理解する②	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	尿細管における再吸収(Na、水、グルコース)と分泌、、排尿 小テスト		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿の生成と排泄について、理解する③	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	尿細管における再吸収(Na、水、グルコース)と分泌、、排尿 小テスト		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養と代謝について理解する①	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	代謝 小テスト		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養と代謝について理解する②	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	中間代謝、エネルギー代謝 小テスト		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養と代謝について理解する③	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	中間代謝、エネルギー代謝 小テスト		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	消化液（唾液、胃液）の分泌機序、消化（糖質、蛋白質、脂質の消化） 吸収（糖質、蛋白質、脂質の吸収）、消化管ホルモン、肝臓と胆道系		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	消化液（唾液、胃液）の分泌機序、消化（糖質、蛋白質、脂質の消化） 吸収（糖質、蛋白質、脂質の吸収）、消化管ホルモン、肝臓と胆道系		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	消化液（唾液、胃液）の分泌機序、消化（糖質、蛋白質、脂質の消化） 吸収（糖質、蛋白質、脂質の吸収）、消化管ホルモン、肝臓と胆道系		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	消化液（唾液、胃液）の分泌機序、消化（糖質、蛋白質、脂質の消化） 吸収（糖質、蛋白質、脂質の吸収）、消化管ホルモン、肝臓と胆道系		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	消化液（唾液、胃液）の分泌機序、消化（糖質、蛋白質、脂質の消化） 吸収（糖質、蛋白質、脂質の吸収）、消化管ホルモン、肝臓と胆道系		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温とその調節について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	体温の生理的変動、熱の産生 小テスト		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温とその調節について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	熱放散、調節、発熱、馴化 小テスト		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ①	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	後期講義の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	総復習、国家試験問題演習		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ②	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	後期全講義の学生の理解度を確認する
		各コマにおける授業予定	総復習、国家試験問題演習		